

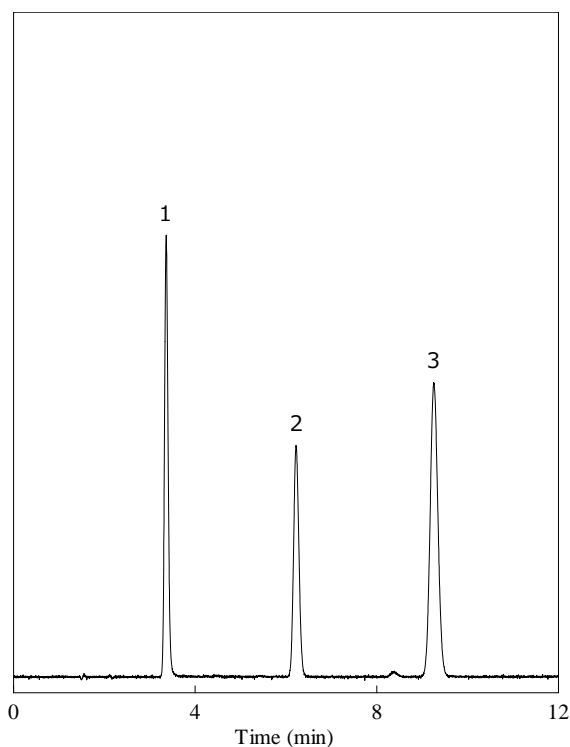
酸性染料 Acid dyes

酸性染料は繊維製品、革製品、化粧品など多くの工業製品に用いられています。酸性染料の中でもアシッドオレンジはその構造にスルホン酸基を持つため十分な保持が得られません。そこでHPLCで測定する場合、イオンペア試薬を使用することが有効です。ここでは、テトラブチルアンモニウムをイオンペア試薬として添加して、アシッドオレンジ(ナフトールオレンジ、アシッドオレンジ5、アシッドオレンジ7)をHPLC分析しました。L-column2 ODS はピーク形状の良好なクロマトグラムが得られました。

Key words : アシッドオレンジ 酸性染料 イオン対クロマトグラフィー
Column : USP category: L1

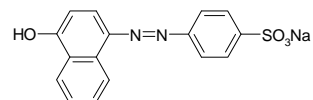
[Analytical conditions]

Column : L-column2 ODS (C18, 5 μm, 12 nm), 4.6 mm I.D. × 150 mm L.; Cat. No. 722070
Eluent : CH₃CN/10 mM Tetra-*n*-butylammonium phosphate in H₂O (45/55)
Flow rate : 1 mL/min
Temperature : 40°C
Detection : VIS 430 nm
Injection volume : 5 μL
System : -

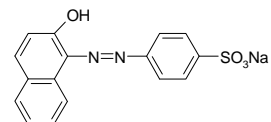


Sample:

1. α -Naphthol orange (Orange I) (100 mg/L)
ナフトールオレンジ, オレンジ I



2. Acid orange 7 (Orange II) (100 mg/L)
アシッドオレンジ7, オレンジ II



3. Acid orange 5 (Tropaeolin OO) (100 mg/L)
アシッドオレンジ5, トロパオリンOO

